

# 北中通信

No.7 「高校で学ぶとは……」

- ・【創造】疑問をもとに生きて働く知恵を創り出し、表現する
- ・【友愛】他人の気持ちを想像し、人のために尽くす
- ・【誠実】誠実に自分の役割を果たす
- ・【健康】強い心と体をもち自分を信じて挑戦し続ける

2017/7/13 文責:校長 荻野 桂司



6月30日(金)の午後、県立安中総合学園高等学校の金井誠治教頭先生を講師にお迎えし、第三学年の生徒を対象とした出前講座を行いました。

今回の講座は、「**そもそも高校へ進学することとは、自分の人生の中でどのような意味をもつものであるのか**」という大きな問題(キャリア教育のテーマでもあります)について、生徒に真剣に考えてもらいたい、という第三学年の職員の強い願いから実施したものです。



三年生代表の案内で先生が教室に到着。いつものように「ノー号令」で生徒から先に礼を行います。「これだけしっかりと挨拶ができる生徒に会ったのは、はじめてです。」とお褒めの言葉をいただきました。「感じ・考え・行動する」という教育目標が普段の行動の中に定着しつつあることを認めていただいたことは、生徒にとって自信につながったのではないのでしょうか。

「実は、私は君たちの先輩なのです……」と先生は自己紹介をされました(先生は、小野中学校の卒業生です)。ここからは、高校の教頭先生として、また北中の先輩として、厳しくかつ温かいお話がはじまりました。以下、三年生が背筋を伸ばして真剣に耳を傾けた講話の中から、強く心に残った言葉の一部をご紹介します。

- ・高校は、人生の次のステージへのつながりを容易にするアイテム(道具)。進学することで確実に世界が広がっていく。
- ・高校選択は、中学生にとって人生最初の選択。将来どのような生き方をしていくのかが、学校選択のカギとなる(資格を取得したいのか? 親元で生活したいのか? 等々)。
- ・高校は義務教育ではない。つまり、学ぶことに自分で責任をとらなければならない。
- ・高校では学びたいことを学ぶことができる。知的好奇心を追求し、深く考えることができる。
- ・学ぶとは、社会に貢献できる力を身に付けること。
- ・入試に必要な力=高校での学びに必要な力(①長時間の集中力②今の自分を正しく認識する力③計画を立て遂行する力④面倒なことにコツコツと取り組む力⑤気持ちを切り替える力(onとoff))
- ・こんな生徒は??? (①スマホで夜更かし②授業中のおしゃべり(塾でやるからと授業は適当)③提出期限を守れない④答えを丸写し⑤相手の目を見て挨拶・返事ができない⑥身だしなみ(服装・髪型)が乱れている)

金井教頭先生の言葉に触れ、「本校や小野小がキャリア教育を通して目指している子どもの姿は間違っていない」との確信が深まりました。大先輩からのエールに感謝いたします。

# 「千一北中」航海中！（6,7月編）

## はるかな尾瀬…遠い空（1年生：尾瀬学校）



7月12日（水）、第一学年（24名）が尾瀬学校へ出かけました。朝6時に学校を出発。4班に分かれ、ガイドさんの案内で鳩待峠から尾瀬ヶ原の間を約5時間かけて散策しました。天上の楽園は気温26度。ワタスゲの群落や浮島等、湿原の自然美を楽しむことができました。帰路は急な雨にも負けず和気あいあいと歩き通し、一年生のたくましが発揮されていました。

## 中学生らしい新鮮な意見を堂々と発表（少年の主張富岡市大会）



7月5日（水）、かぶら文化ホールで少年の主張富岡市大会が開催されました。市内の中学校から12名の生徒が参加し、自分の生き方や望ましい社会の姿について中学生らしい視点で意見を発表しました。

本校からは1年の萩原さん、3年の笠原さんの2名が参加。国語科の佐藤先生と毎日練習を重ね、原稿に頼らず堂々と発表を行いました。

## 「はばたけ！ぐんまの子どもたち」（県教育番組）の撮影はじまる



県教育委員会の教育番組「はばたけ！ぐんまの子どもたち」（群馬テレビが制作・放送）において、今年度、小野小学校と北中学校のキャリア教育を中心とした取組が紹介されることとなりました。

来年3月上旬の放送に向けてテレビ局による撮影が始まっています。6月は、1年生の富岡製糸場の発表会や自問清掃の様子を撮影しました。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

## 夜間も安心・安全です！（西門に防犯灯設置）

校庭西側の校門に照明があると夜間も安全・安心であるとの地域の声を受け、6月に市でLED防犯灯1基を西門脇に設置していただきました。夜間も周囲が明るくなり、社会体育で体育館を利用される方も安全に校門を通ることができます。ご尽力いただいた皆様に紙面を借りてお礼申し上げます。



本通信に関するご意見・ご要望等は、生徒を通じて校長（荻野）までお届け下さい。電話・Fax等でも結構です。

Tel 62-3009 / Fax 62-6909 また、北中Webページもぜひご覧ください。 <http://www.t-kita-jhs.gsn.ed.jp>